

平成 27 年 1 月 20 日

(公社) 日本工学アカデミー 安全知と安全学委員会
委員長 向 殿 政 男

第 10 回安全工学フォーラム開催のご案内

安全工学フォーラム 10 回を記念して、わが国の安全で世界に誇れる分野を取り上げて、その良さを点検し、更なる安全性向上を目指すと共に、わが国の安全文化を確立して世界に発信していきたい。事故が起きるたびに、マスコミを含めてまじめに努力をしている安全関係者は非難され、責任を問われる。わが国の安全が崩壊したように喧伝されるが、実は、日本には世界に誇るべき安全に関する技術、仕組み、人間教育が厳としてあり、日本の社会の安全を確保している。日本人は、安全の中に居て安全を知らないでいる。本フォーラムは、世界に誇れる安全分野を取り上げて、安全関係者が自信と誇りを持って、正々堂々と日本の安全のすばらしさを情報発信していけるようになることを期待して開催される。

テーマ：世界に誇る日本の安全について考える

日 時：2015 年 3 月 6 日（金） 13 時 30 分～17 時 30 分

場 所：公益財団法人鉄道弘済会 弘済会館 4 階「菊」 東京都千代田区麹町 5-1 03-5276-0333

参加費：無 料

開会のご挨拶 (13:30-13:45)
講演 1 (13:45-14:15) 「東海道新幹線における安全・安定輸送」 JR 東海 取締役常務執行役員 五十嵐一弘様 東海道新幹線は昨年 10 月、開業 50 周年を迎え、その間、乗車中のお客様が死傷に至る列車事故ゼロを継続しています。当社は会社発足以降、一貫して安全・安定輸送の確保を最優先としてきました。今回、東海道新幹線のコンセプトとこれまでの安全・安定輸送の取り組みについて紹介します。
講演 2 (14:15-14:45) 「外国人船員の確保と育成」 日本郵船株式会社 専務 赤峯浩一様 弊社は、世界中で約 850 隻の船舶を運航しておりますが、乗組員の約 95%は外国人であり、中でも、フィリピン人が、3/4 を占めております。海運会社としての最大の使命である安全運航を達成するためには、質の高い外国人船員を確保／育成する必要がある、その取り組みについてご紹介させて戴くものです。
講演 3 (14:45-15:15) 「労働安全衛生管理における日本の特徴」 中央労働災害防止協会 マネジメントシステム審査センター所長 白崎彰久様 わが国は労働災害防止の先進国のなかにあって、欧米と大きく異なるところは、安全衛生マネジメントにおけるトップダウンとボトムアップとの調和が優れて執られていることであり、大規模事業場では効果も顕著にでています。
休憩 (15:15-15:30)
講演 4 (15:30-16:00) 「食の安全・安心を守るための取り組み」 カルビー株式会社 執行役員 井本 朗様 このところ毎年のように大きな食品事故・事件が発生しています。食のリスクは何か？そしてそのリスクにどう対処してゆくのか？は食品業界にいる私たちの永遠の課題です。リスクへの対応について試行錯誤しつつ進めてきました弊社の事例を織り交ぜて紹介させていただきます。
講演 5 (16:00-16:30) 「世界一リスクが低い日本製品とは？」 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 長田 敏様 国民が日常的に使用している製品の中には、最先端の保護装置や警報器の採用、また、保安面での定期点検制度の導入などによって、世界で最も低いリスクが実現しているものがある。海外の製品と比べて、何故低いリスクが実現できたのか、具体的に説明する。
パネルディスカッション (16:30-17:30) 司会：向殿政男
懇親会 (18:00-19:30) 会場：弘済会館 1 階レストラン「ふたば」 会費：3,000 円

参 加 申 込 書

To:(公社)日本工学アカデミー事務局

FAX: 03-5442-0485

E-mail: academy@eaj.or.jp

申込締切: 2015 年 3 月 3 日(火)

第 10 回 安全工学フォーラムに申し込みます

日時: 2015 年 3 月 6 日(金) 13:30~17:30

場所: 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館 4 階「菊」

お 名 前: _____ (正会員・賛助会員所属・非会員)

ご 所 属: _____

ご連絡先: _____ (電話または E-mail)

懇親会(会費 3,000 円)に

参加する 参加しない

(該当する方を○で囲んで下さい)

※ 3 月 3 日(火)までに、ご送付願います。電子メールでも結構です。
なお、申込受付のご連絡は差し上げておりません。当日会場へ直接お越し下さい。